



ウメモト インフラオレーション



2020年 5月 8日

担当者: 山崎

東京原油先物3日続伸

経済活動の再開期待

東京商品取引所の原油先物価格が3営業日続伸した。7日の清算値は取引中心の9月物が1キロ2万2250円と、前週末比680円(3%強)高い。米国や欧州で新型コロナウイルスの感染拡大を受けた外出制限を緩和する動きが広がり、経済活動の再開で石油需要が徐々に持ち直すとの期待から買われた。

ニューヨーク先物は日本時間7日午後の電子取引で1ドル24前後を付けており、前週末から2割ほど値上がりしている。

米エネルギー情報局(EIA)が前日発表した週

4月まで市場を覆っていた余剰懸念がやや後退し「当面は30ドルを試す展開」(石油アナリスト)との声もある。

間統計では、原油在庫の前週比の増加幅が日量459万バレルと市場予想の6割程度にとどまった。ガソリンの出荷量は1カ月前から3割以上増え、石油需要の底入れが意識された。

石油輸出国機構(OPEC)など主要産油国による大規模な協調減産が5月にスタートし、サウジアラビアやロシアの産油量減少が伝えられる。

引用記事: 日本経済新聞
燃料油脂新聞
化学工業日報

欧米石油メジャー、投資3兆円圧縮 油価崩落で開発中断

環境エネ・素材 ヨーロッパ 北米

2020/5/8 4:48 (2020/5/8 7:09更新) | 1480文字 [有料会員限定]

保存 共有 印刷 音 図 動画 その他

■エクソン、日揮が受注のプロジェクト延期

エクソンは2020年に予定していた330億ドルの設備投資を230億ドルに3割減額する。米シェールオイル最大鉱区の南部パーミアンで開発を抑制するほか、モザンビークの液化天然ガス（LNG）プロジェクトを延期する。同プロジェクトは日揮ホールディングスがプラント建設を受注しており、日本の重工業メーカーにも影響が出る。

投資削減の主な事例	
米エクソン	モザンビークのLNGプロジェクトを延期
米シェブロン	米南部の石油リグを6割停止
米ココフィリップス	米アラスカ州の油田開発を凍結
英蘭シェル	米LNGプロジェクトから撤退
英BP	長期の新規プロジェクトを抑制

シェブロンは3月下旬に発表した40億ドルの投資削減計画を拡大し、さらに20億ドルを削減する。6月末までに6割の石油採掘装置（リグ）の稼働を止め、パーミアンでの採掘抑制で20億ドル以上の投資コストを浮かせる。5～6月に最大で生産の1割弱にあたる日量30万バレルを減産する計画だ。

■メジャー6社投資、3割減額へ

両社に米ココフィリップス、シェル、英BP、仏トタルを加えた6社の20年の設備投資計画は約873億ドルとなり、期初計画（約1186億ドル）から3割近く減ることになる。

背景にあるのが歴史的な原油価格の下落と業績悪化だ。

各社の20年1～3月期決算は、シェブロンとトタルを除く4社が最終赤字となった。原油相場の急落で開発・生産の上流部門の採算が悪化し、在庫や生産設備の評価損も膨らんだ。

「原油価格や製品の需要は当面は回復しない」。シェルのベン・ファン・ブールデン最高経営責任者（CEO）は需要低迷が長期化するとみて現金の流出抑制に集中する。米南部ルイジアナ州で検討していたLNGプロジェクトから撤退。20年の設備投資は200億ドル以下と従来計画から約50億ドル減らす。四半期配当を第2次世界大戦後で初めて減額することも表明した。

英BPも20年の設備投資を120億ドル程度と、2月時点の計画から25%削減する。営業コストも圧縮し、現金収支が黒字となる原油価格の水準（北海プレントベース）を19年の1バレル56ドルから、21年に35ドルまで引き下げる。

■キャタピラーやUSスチールに余波

石油メジャーの投資抑制は機械や建設、輸送など幅広い関連産業に影響を及ぼす。

米キャタピラーは石油開発などに用いる鉱山機械の1～3月の売上高がグローバルで23%減少した。鉱山機械は同社の売上高の2割を占めるが、「開発業者が機材の更新投資を抑制し、買い替え需要が止まっている」。鉄鋼大手のUSスチールは石油・天然ガスのパイプラインに用いる鋼管の出荷が1～3月に1割減、販売単価が2割安となった。

原油価格は3月半ばにサウジアラビアとロシアの協調減産協議の決裂をきっかけに急落した。石油輸出機構（OPEC）と非加盟の主要産油国は新型コロナウイルスの影響拡大を受けて5月から日量970万バレルの減産に合意したが、最大で2000～3000万バレルとされる世界需要の減少とはなお隔りがある。

4月には米指標のWTI（ウエスト・テキサス・インターメディアート）が史上初のマイナス値を付けた。14～16年の油価下落を経験した石油メジャーは精製・化学品などの下流部門を強化して経営安定を図ってきたが、「前例のない価格の下落圧力」（エクソンのダレン・ウッズCEO）にあえいでいる。

引用記事

日本経済新聞

燃料油脂新聞

化学工業日報



ウメモト
インフラオメーション



2020年5月8日 担当者：宮下

2020 年 5 月 8 日

担当者: 榎野

パッケージ用リキッドインキ

中国社から事業買収

D I C

DICは7日、食品・飲料パッケージ用リキッドインキなどの生産・販売を行う中国の遼寧天麒科技有限公司（遼寧省鉄嶺市）の事業を5月1日に買収したと発表した。投資額は非公表。中国で需要が伸びるリキッドインキの生産、販売を拡充

するとともに、製品供給の安定化をより確実にする。

買収後、同事業を迪愛生（瀋陽）油墨有限公司として事業を進める。今回の買収で、中国での同



社のリキッドインキ生産能力は2割増強される。

東北地域中心の遼寧天麒の既存事業の取り込みに加え、華北・東北地域の拠点と位置づけ、供給体制をより強固なものとする。ことで同地域での販売拡大を図る。中国での生産拠点を分散し、製品供給の安定性をより確実なものとする狙いもあるとしている。

リキッドインキは食品・飲料などの軟包装材の印刷用途で近年中国での需要が大きく増加するとともに、環境・安全への関心の高まりから環境対応型製品のニーズが高まっている。

中国でのリキッドインキの生産、販売を拡充し製品供給の安定化をより確実にする